

◇山行記 第21回 城山(565m) 湯河原町 男子3名 女子14名 計17名

実施日 2024年2月3日(土) 初級者向け 担当 NH・YK

山行記 Y.K 記 日帰り山行としては、遠い湯河原ですが晴天にめぐまれて17名の方が集まりました。湯河原駅より9時発の幕山公園行きバスは、大変な混雑でした。今日から梅祭りが開催されるためでしょうか。準備体操のあと、9時40分出発です。幕山公園の境界線の川沿いの道を行います。残念ですが梅は一分咲きぐらいでしたが、薄桃に色づいた花芽に覆われた山腹に、所々に早咲きの白い梅花が咲き、早春を感じられるきれいな景色でした。30分ほどで幕山と城山との分岐路で「山の神」の鳥居と祠があり、私も皆さんも自然と安全祈願をしました。しばらく歩いて、林道から登山道に入りましたが、足場がわるく、急登箇所もあり、初級向けと言っても登山だよな、など思いながら息を弾ませて登ります。10時50分頃「しとどの窟」に到着しました。石橋合戦の敗戦後に頼朝が隠れた岩穴ですが、思っていてより大きく、石仏の観音像がたくさん置かれていました。頼朝がお守りに持っていた正観音像をこの窟に置いてきた話から来たのでしょうか。ここで皆さんと記念撮影です。しとどの窟からの登りの歩道は舗装されていましたが、無数の石仏が歩道の側面に並べられてあり、なかには歩道まで転がった石仏もありました。登り上がった広場にある説明書きの看板によると、これら石仏は弘法大師空海とのことです。湯河原は関東地方の山伏の発祥の地で、散在していた弘法大師の石仏をここに集めたとありました。隧道を抜けトイレ休憩のあと出発。緩やかな尾根道を歩き11時45分に城山に到着しました。城山は頼朝に従った土肥氏の城跡です。晴天での海側の眺望は素晴らしく、相模灘と初島や大島が望めました。この絶景をみながら昼食です。記念撮影のあと12時35分下山出発です。麓の民家の沿道にミカンが無数に実り、地面にも転がっています。ある民家の庭先でミカンの無人販売をされており、皆さんがお土産に買っていました。途中成願寺により、国指定天然記念物のビャクシンの大木を見学しました。樹齢800年とのことです。湯河原駅には14時頃到着し解散しました。いろいろ見所のある楽しい登山でした。



幕山公園



城山より